

英語を楽しく

NO. 19

10, September

☆ Will は未来の気持ちを表す時に使うと言うけれど…。

「私は、明日、学校にいきます。」
を英語にすると、

① I will go to school tomorrow.

② I'm going to go to school tomorrow.

③ I go to school tomorrow.

の3つが考えられます。

さて、英語圏の人が聴くと、この3つは違いを感じるのでしょうか。

答えは、“YES.”です。



日本語でも、幼い子が、
「明日、おばあちゃんの所に行く。」
という言い方をしますが、この文は、明らかに現在形で未来のことを表しています。それと同様、英語でも ③ I go to school tomorrow. のように現在形で未来のことも表すことができます。

では、will と be going to はどうでしょうか。

(英語をたのしく No. 8 でも述べましたが、今回ちょっとプラスします。)

will は その場で未来ことを述べるときに使う。

be going to は初めから予定していることを述べるときに使う。

例えば、Aさんが、道で友人のBさんに会った。その時、Cさんが○病院に入院している話題になり、二人で明日お見舞いに行くことにした二人は、予定していることでなかったため、will を使って、

“We will visit him in ○ hospital tomorrow.”
といます。

しかし、Aさんが、我が家に帰って奥さんに、

「明日、○病院に入院している友達のお見舞いに行く。」

と言うときには、Bさんとの間で決まっていたことなので、be going to を

“I'm going to visit my friend in ○ hospital tomorrow.”
と言います。

英語圏の人は文の単語の一つ一つにもそれぞれ意味を持ち使い分けをしているのです。このことは英語に限らず、日本語もそうだと思います。

そうそう、

「明日、○病院に入院している友達のお見舞いに行く。」
のもう一つの言い方。

“I visit my friend in ○ hospital tomorrow.”

がありました。これが一番いいかな? (Simple is best. ということで～す。)

